

今年もやります！まちを元気に

プレミアム応援券発行

6月
定例会

第2回定例会は6月12日～13日に開催しました。行政報告のあと、4人の議員が一般質問し条例改正や補正予算等の審議が行われ、すべて原案の通り可決しました。



数年前から物価がなんでも上がって家計のやりくりが大変！毎年お得な応援券を買うことができて生活は大助かりです。
(ボッチャ大会に参加された
大通自治会の皆さん)

割増金額1冊
1000円

世帯人数別購入限度冊数			割増20%
1人世帯	14冊	7万円+割増1.4万円	
2人世帯	18冊	9万円+割増1.8万円	
3人以上世帯	22冊	11万円+割増2.2万円	
町外からの通勤者	6冊	3万円+割増0.6万円	

販売期間	令和7年8月29日～10月31日
8月29日	役場町民センター、商工会
9月1日～	商工会、ホクレンショップわっさむ店
9月8日～	ローソン和寒店、セブンイレブン和寒町店

※引換券は、町より世帯主へ直接交付します

物価高騰などで落ち込んだ町内経済の早期回復と地域経済の活性化に町民等みんなで取り組み元気を取り戻すため、プレミアム応援券を発行します。
発行額は昨年と同額で、5千円+プレミアム金額1千円＝利用金額6千円です。
利用期間は令和7年9月1日から令和8年2月28日の6カ月です。
(1831万円)

産後ケア費用助成

(6万円)

令和2年度より出産後早期から身体の回復や心理的安定の支援が必要な母子に対して、安心して子育てができるよう産後ケア費用を助成しており、令和7年度からは産後ケアの利用期間と回数を拡大しました。
委託先以外で産後ケアを利用した場合は償還払いをします。

委託機関	利用方法	利用者負担
たぐち助産院(土別市)	日帰り型	1,500円
	訪問型	
助産院あゆる(旭川市)	母乳・育児外来	500円
	日帰りケア	2,000円

▲委託機関と利用者負担

※償還払い…医療機関で利用料金を支払い、領収書を添付して町に申請することで後日、自己負担額を除いた額を助成する制度

Q 国の説明では、産後ケア費用の助成は宿泊型もあり、旭川市や近郊自治体では利用できると。
本町でも利用できるようにしては。
A 宿泊型は今までニーズがないが、今後検討していきたい。

町民センター外構改修工事 (510万円)

町民センター植栽スペースの擁壁が土圧により傾き、石の剥がれやコンクリートの破損もあるため改修します。



▲通行の際はご注意ください

人権擁護委員

人権擁護委員の候補者の推薦で、伊藤裕美子氏が適任者と決定しました。(任期3年)



いとう ゆみこ 氏
伊藤 裕美子
(日ノ出)

令和7年度補正予算一覧表

(1万円未満切捨て表記)

一般会計	補正額	補正前の額	補正後の額
	2,616万円	47億7,700万円	48億316万円
総務費	531万円	町民センター外構改修工事・投票所管理費他報酬ほか	
民生費	92万円	定額減税調整給付金事業システム改修委託・保育所外壁修繕	
衛生費	1,186万円	保健福祉センター暖房設備改修工事・産後ケア費用助成	
農林業費	1,745万円	農業支援サービス事業導入総合サポート緊急対策事業補助	
商工費	1,831万円	プレミアム応援券発行事業実行委員会補助ほか	
土木費	△2,769万円	雪寒機械購入	

除雪トラック購入 (5655万円)



▲効率的な除雪体制の維持を図ります

平成15年購入の除雪トラック老朽化に伴い、同サイズの7トン積載ダンプに更新します。

Q 当初予算は10トンサイズの計画だったが、7トンでの更新になった経緯は。

A 当初10トンのサイドウィング付き車両を計画していたが、請負業者と打合せを重ね「作業効率低下が懸念」とのこと、現行と同じ7トンに変更した。次の更新はグレーダーを予定しており、今後も除雪維持に支障がないよう進めていきたい。

みんなの声を国政に

意見書は全て可決し、関係行政省庁などに提出しました。
詳細はQRコード又は和寒町ホームページをご覧ください。



● 令和7年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
● 地方財政の充実・強化に関する意見書
提出者 村岡 敏一

● 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元など教育予算拡充とゆたかな学びを求める意見書
● 道教委「これからの高校づくりに関する指針」(改定版)を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

● 国内農業を犠牲としない日米関税交渉などを求める意見書
提出者 池澤 哲也

● ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書
提出者 酒向 勤